

八戸工業大学 同窓会報



八戸の青い海や空との共生！可能性への入口と地域に開かれた大学！工学とデザインの融合、大学と地域の連携！

八戸工業大学は、工学部と感性デザイン学部の個々の教育に加えて、両学部の「知」と「経験」を融合した文理融合型教育によって、地方創生を担う人材、激変の時代を牽引する有為な人材の育成を目指して邁進します。両学部の多角的な視点を持った豊富な「知」と「経験」をもって、地域が抱える課題の解決に取り組み、地域の発展に寄与していくことを基本理念とします。



工学部の改組・創立50周年に向けて

八戸工業大学 学長 坂本 禎智



八戸工業大学の同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、辛い思いをされたりご苦労をされたりなど、多くの方が苦難の中に置かれていたのではないかと察いたします。本学も様々な制約の中で、学生の教育研究を実施してきました。いま、このような社会情勢激変のなかで、本学は未来を見据えて力強く羽ばたこうとしています。ここに、これから本学が向かう方向性に関するメッセージを皆様にお伝えします。

本学は2022年度(令和4年度)に、文理融合・分野横断教育、ITスキル強化教育など、高等教育機関に求められている教育を推進するために改組を行います。特に産業界からは、AI(人工知能)やIoT(モノのインターネット)などの新しい技

術に対応できる幅広い分野の知識をもった人材が求められており、このような背景から、工学を分野横断的に学べるように、工学部のこれまでの機械工学科、電気電子工学科、システム情報工学科、生命環境科学科、土木建築工学科5学科を1学科に統合し、工学部工学科(5コース制)とします。また、感性デザイン学部は、「創生デザイン学科」を「感性デザイン学科」に名称変更します。両学部共通の特徴的な科目として、幅広い工学分野の技術を知る「工学概論」、人の感性を重視したモノづくりができる力を養う「工学とデザイン」の融合科目「デザインと技術」や「共創デザイン演習」、また地域の価値を知り新たな価値を創造する力を養う「北東北八戸の地域学」などが挙げられ、さらに「AI・データサイエンス・数理」科目などを加えて、地方創生を担う人材、幅広い素養を持った有為な人材を育成していきます。

また本学は、2022年1月29日に、大学設置認可を受けてから、創立50周年を迎えます。設置から半世紀を経て、これまでの学科体制から大きく体制を変え、コース体制へと生まれ変わります。この節目を迎える今年度は、創立50周年記念プレ・イヤーとして、シンボルマークの制定など各種プレイベントを実施してい

ます。2022年度は、創立からの50年を振り返り、本学をご支援いただいた多くの皆様に「感謝」を伝え、その先の未来を描き、「進化・成長」を誓う機会ととらえて、活動を本格化させます。プレ・イヤーの今年度は、特に学生を主人公に据えて「学生がつくる50周年」として各種の活動を進めています。例えば、学生の主体的な活動を支援する学生チャレンジプロジェクトや、大学正門からメディアセンターまでの一帯を学生教育のため、また市民に開かれた広場として整備する事業などです。学生の主体的な活動を促し、計画立案力、実行力も育成して展開していきます。2022年10月22日には、式典、祝賀会を計画しています。創立50周年を機に、同窓生の皆様とともに、更なる社会貢献を行う決意を新たにし、本学の更なる発展を誓い、未来に向けて邁進していきたいと思えます。

今後とも、皆様のご指導ご鞭撻をくださいますようお願いいたします。

大学シンボルマーク



八戸工業大学

Hachinohe Institute of Technology

2022年創立50周年を迎えます！

同窓会 会長挨拶

母校創立50周年に向けて



八戸工業大学同窓会

会長 福士 信雄

同窓会長の福士信雄です。

全国各地の同窓の皆様方におかれましては、同窓会活動に格段のご協力をいただき誠にありがとうございます。それぞれの地においてのご活躍に敬意を表します。また、母校八戸工業大学からは同窓会活動に一層のご理解とご支援をいただいております。深く感謝申し上げます。

今この原稿を書いているのは、東京オリピックが17日間の幕を下ろしたタイミングです。日本は過去最多のメダル58個を獲得し金メダルも過去最多の27個でした。想像以上の日本選手の活躍を称えるには、この紙面では間に合いませんが、学生時代空手部だった私としては、日本選手団の旗手を務めた喜友名諒(きゆなりよう)選手が金メダルを取ったことは、ひとしおの感激でした。(空手部の新人部員が少ないと聞いて少し心配しております。)

例えば、コロナ禍で史上初めて1年延期となるも、さらにコロナ感染者が爆発的な増加をし、いろいろな問題が続出しました。しかし、無事に実施したことに、すべての選手と関係者に拍手を送りたいと思います。

閉会式でバツハ会長の挨拶に「We did it!」という言葉がありました。「やったー!」と言う感じでしょうか。決めた目標を実現したり、ゴールを達成したときに使われるフレーズです。

同窓会の目的は「会員相互の親睦を図り、あわせて母校の発展に貢献することを目指す。」です。コロナ禍にあつて、支部総会や分会の活動、そして「同窓生の集う会」等々の活動が、如何に重要であったかを再認識させられました。

未だ未だ苦渋の制限がありますが、今年度「同窓生の集う会」は「YouTubeでの配信」などオンラインでの実施を計画しております。

そして、来年の母校創立50周年を同窓会として全面的に支援をしたいと考えています。そのために今年度予算にも「記念事業支援費」を確保いたしました。同窓会として支援するための事業や企画のアイデアを募集したいと思っております。

同窓生の皆様のなご一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。

創立50周年/同窓生皆で「We did it!」と言いたと思います!

令和3年度 理事会・定例代議員会

令和3年6月3日(21日)の期間、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、令和3年度定例代議員会が紙面審議にて開催されました。また、審議結果を基に6月26日16時から八戸工業大学メディアセンターをメイン会場とし、Zoomによるオンライン意見交換会が開催されました。第1号議案では、令和2年度事業報告と決算について報告があり、コロナ禍における行事の中止と決算について確認し了承されています。第2号議案令和3年度事業計画と予算について、次年度、大学50周年事業への記念事業支援費の予算を組むことと了承されました。第3号議案第20回「八戸工業大学同窓生の集う会」についてはオンライン開催とすることで了承されました。第4号議案同窓会表彰推薦の依頼については推薦なしで了承されました。報告事項の第1号として、各支部/分会の行事についての報告、第2号として、母校への支援として分会から消毒液スタンド等の寄贈があったこと、第3号では、同窓会報と同窓会便覧の発行日変更の報告がありました。

役職	氏名	卒業年度	卒業学科
会長	福士 信雄	昭和51年度	電気
副会長※	淺利 能之	昭和51年度	電気
副会長	小玉 成人	平成7年度	電気
理事	小玉 吉美	昭和50年度	機械
理事	高橋 和雄	昭和55年度	建築
理事	岩本 明佳	昭和57年度	電気
理事	原田 修	昭和60年度	エネルギー
理事	大坂 崇長	平成4年度	エネルギー
理事	石橋 宣貴	平成20年度	感性デザイン
理事	住吉 貴恵	平成21年度	感性デザイン
理事	田村 友宏	平成27年度	システム情報
理事	奈良坂 進	昭和60年度	機械
理事	山下一 寛	昭和62年度	建築
理事	永井 誠	平成2年度	建築
理事	古館 仁	平成10年度	機械
理事	左館 直樹	昭和57年度	機械
監事	夏堀 大司	昭和58年度	土木

※同窓教職員の会

(順不同)



第20回「同窓生の集う会」 オンラインで開催・八戸



令和3年10月2日(土)、八戸工業大学多目的ホールを配信会場として18時から、第20回「同窓生の集う会／オンライン」が開催されました。新型コロナウイルスの影響により、初めての試みとして、オンラインにて行われました。会は、YouTubeによるオンライン配信の第1部と、Zoomによる懇親会の第2部に分かれ実施され、第1部では、本学OBで、本学に勤務する齊藤克治さん(システム情報工学科・平成14年度卒)と、OGの赤石美友さん(創生デザイン学科・令和2年度卒)、現在、劇団わらび座(秋田県)の研修生として活動中の、二人の司会進行により行われました。はじめに、富士同窓会長からの挨拶、次に、坂本禎智学長から同窓生へのご挨拶、大学近況

報告、50周年記念事業報告、同窓生からのお便りエンドロールという順で、ライブ配信されました。各地から同窓生・教職員を含め約103名が視聴をしました。続いて、Zoomに画面を切り替え、OBで、本学に勤務する本間貴士さん(電気電子工学科・平成15年度卒)の進行で第2部が開かれ、それぞれが用意した飲み物を手に、富士同窓会長の「乾杯!」の掛け声で、参加者32名がオンライン上で乾杯、画面上での久しぶりの顔合わと、近況についてリレーをしながら情報交換をし、親睦を深めました。また、オンライン上で全員が校歌斉唱、一本締めなど、オンラインならではのタイミングの悪さもありましたが、参加した皆さんは、楽しいひと時を過ごしていました。

同窓生の集う会は、YouTubeチャンネルでお楽しみ頂けます!

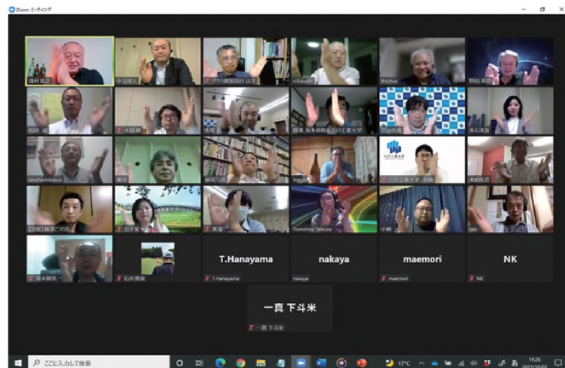


<https://www.youtube.com/watch?v=oGlaOKZ76Tg>

むすびに、コロナ禍において、参加してくだされました同窓生、教職員の皆様、はじめのオンライン同窓会の開催にご尽力くださいました皆様、ありがとうございます。感謝申し上げます。
次年度は、各支部、集う会が対面で開催出来ることを願っています。

令和3年10月

同窓会本部 事務局幹事一同



HAMS (メールマガジン) 会員 登録のご案内

登録手順① 仮登録

普段お使いの携帯電話もしくはパソコンから、下記アドレス宛に空メールを送信します。携帯電話をご利用の場合、QRコードからのアクセスが可能です。

hams@alumni.hi-tech.ac.jp

登録手順② 本登録

空メールを送信した携帯電話もしくはパソコンに、自動で返信メールが届きます。返信メールの本文中にあるURLにアクセスすることで本登録が完了します。



蒼峰会

（伝統に生きる津軽鍛冶）

吉澤 俊 寿

昭和54年3月卒

機械工学科（小林道明研究室）
有限会社

二唐刃物鍛造所代表取締役
（二ガラハモノタンゾウシヨ）



弘前から漁業・工業分野の盛んな八戸で4年間の大学生活を過ごしたことや高台荘という下宿で仲間達と共同生活を送った事は、私にとってまさしく青春の素晴らしい宝物であります。残念ながら高台荘は今はありません。さて現在私は63歳となり卒業してから早42年の月日が経ちました。初めて親元を離れて下宿

大学生生活の始まりといういくらかの不安を抱え、陸奥湊駅で下車し高台荘を目指しながらおふくろと一緒に歩いているシーンは今も鮮明に脳裏に焼き付いています。18歳の懐かしい思い出です。

さて私の生業の話をしてしましよう。二唐刃物鍛造所というレトロな社名の会社です。刃物部門と鉄骨部門があり、主に刃物製造販売と建築鉄骨・プラント鉄骨の製作をおこなっております。私を含め19名で仕事をしております。二唐（にがら）は母親の実家の姓で、津軽藩より鉄砲・刀の製作の拜命を受け350年程前から代々刀鍛冶として続いております。本家が5代続き分家を私で7代目となっております。

現在長男が中心となり三男を入れて5名で刃物製作に従事しております。又製作した刃物は国内商社を通して中国・香港・台湾・アメリカ・EU向けに販売されております。ありがたい事にここ数年で年間受注量も10倍以上となっており量産化に向け取り組んでいる最中です。弘前地区にも何軒か鍛冶屋があります。がほぼ後継者が居ないのが現実です。

7代目鍛冶工としてスタートしたのは中学2年14歳の時でした。そのきっかけは6代目で刀匠の二唐国次（私の叔父）に男の子がいないので跡が途絶えるとの事で吉澤家次男に白羽の矢がたち、山あり谷ありのスタートを切りました。中学2年の春休みから5代目刀匠、二唐国俊（私の祖父）の元へ作刀鍛錬の手付きとして行かされました。（自発的ではありません。）二唐国俊は刀剣業界ではかなり有名でした。鍛錬に使う炭を細

かく砕いたりフイゴで風を送り燃料とし、又玉鋼を折り返す時の大槌打ちをして舞う炭の粉で顔中真っ黒になりました。名工として名をはせた祖父の仕事を真近で見れた事は私の大きな財産となっております。中学3年になった時に待たなした叔父より弘前工業高校機械科へ進むように言われました。私が素直というよりもあまりにも威厳オーラがまわりの「No」と言えませんでした。無事入学となりましたが元来物作りが大の苦手で不器用だったので機械実習は青くなっておりました。又その当時は作業服の襟を立てているツツパリ兄ちゃんも多く完全に浮いていました。しかしもの作りの縁はすごいものです。家内、三人の息子全員弘前工業高校出身、私自身は同窓会会長を拝命頂き日々母校愛に目覚めております。

八戸工業大学で青春を謳歌した後、叔父が経営する会社に入社し42年一筋でした。いきなり刃物鍛冶職人の世界へ飛び込みましたが、力不足と徒弟制度の洗礼を受け谷あり谷ありの感があります。25歳で転機を迎えたのは、青森県物産展に出展し初めて包丁の販売接客を経験したことです。自社の包丁は品質が高いと胸を張ってもダメ、お客様の高い響く刃物作り、使ってもらいたい、コレクションにしたいと思ってもらう様な包丁を作らないと興味があれば1円でも10円でも払ってもらえない事を痛感しました。当然セールストークも必要です。よく「職人だから口数が少ない」これは逃げの口実です。「沈黙は鉛」職人こそ作り手として刃物の良し悪しが分かるので「雄

弁こそ金！」と思っております。鍛冶屋のキャリアを重ねて思う事は、いかにオリジナルを生み出し続けて行けるかに尽きると思います。数多くのナイフメーカーがありますが、現在カンパニーとして生き残っているのは私自身、息子達もオリジナルデザインを生み出し最初から完成までひとりで作れることにあります。当然分業もありますが個々の技量が一定ラインを超えないと商品にならない現実を背負っています。50代の頃にパリの「メゾン・エ・オブジェ」フランクフルトの「アンピエンテ」の国際見本市に息子と出展しましたが製作するテーマを絞り込み、一貫性のある作品作りが出来ないと海外での発信はできないと痛感しました。付け焼き刃のコピー商品はいくらでもできると思いますが仕上がった製品、作品は誰が見てもメイドインNigeriaではなくては海外での販路につながるのではありません。ひらめくアイデアも無限ではありません。刃物関連だけを深く掘り下げても井の中の蛙で終わってしまいます。本を読んだり、ドライブ、映画、ショッピング、音楽を聴いたりおしゃべりにカフェでのビール？色々な情報がインプットされアイデアがあふれ出し製品・作品が生まれて行きます。ヴィクトルユーゴの言葉に「真珠は泥の中にあっても溶け去りはしない」とありますがまさしく代々私達が培ってきた物作りスピリットと感じ、感銘を受けた言葉です。

「不思議ですね。私にとって鍛冶屋が天職になっていきます。そして4年間の大学生活は現在の創作ベースとなっております。感謝・感謝！」

水交会

■水交会活動報告

水交会総会

新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、同窓生および関係者の健康と安全を最優先に考慮し、令和2年度及び令和3年度水交会総会は水交会webpage上にて開催いたしました。

令和2年度「水交会賞」表彰式

令和3年3月19日(木)及び4月8日(水)に八戸工業大学にて令和2年度「水交会賞」表彰式を行いました。水交会賞は、学業成績が特に優れている学生や課外活動において特に優秀な成績をおさめた学生を表彰するものであり、水交会在学生応援事業として平成28年度総会にて承認された制度です。令和2年度は5名の学生が表彰されました。



新型コロナウイルス感染症防止対策品寄贈



令和3年9月17日(金)、在学生の新型コロナウイルス感染症対策に役立ててもらうため、電気電子工学科にサーモグラフィカメラ非接触型顔認証検温器2台を寄贈しました。

■OB・OGだより

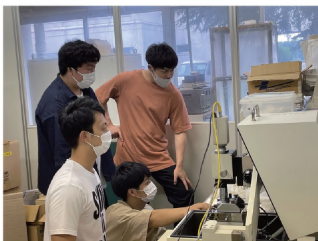
森 忠裕さん
1993年3月

電気工学科卒(藤田研究室)
現在 株式会社ヤブシタ代表取締役社長

学生時代は学業を疎かにして遊びとバイトを優先した4年間でした。学生時代に学んだことは、何の目的も目標も設定しない自堕落な学生生活は後で苦労する。取り返すのに人の何倍も努力しなくてはならない、失敗から得た教訓です。卒業して入社した会社が設備系、遊ぶお金欲しさに一級管工事施工管理技士を取得、資格のありがたみは後に知ることとなります。28歳で現在の会社へ転職、三菱電機冷熱設備で学んだ技術と根性を生かしながら現在に至っております。ヤブシタは今年で58期、製造建設業13社のグループ構成全国展開しております。会社の行動規範は「気づき、そして感謝と丁寧」、現在に気づき、過去に感謝して未来を丁寧に創る。平均年齢37歳の若い布陣。社員が一番、お客様は二番の会社です。ホームページやYouTubeなどでご確認ください。



■研究室探訪 石山武研究室



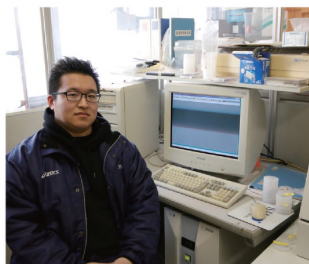
平成31年4月に赴任いたしました石山武です。また3年目の研究室ですが、皆様どうぞよろしくお願致します。当研究室では、主に半導体材料の特性向上に取り組み、半導体に他の元素を加えて、その電気

特性、光学特性を大きく改善した機能性材料を創り出ことを目指しています。特に、従来にはない新しい特性を備えた半導体ナノ構造に着目した研究を行っています。また最近では、食品の安全性を簡単に検査できる装置開発を目標に、光を利用して細菌などを検出する実験も進めています。機会がございましたら、どうぞお気軽にお越しください。

■同窓生としての抱負

平山樹さん
2021年3月

電気電子工学科卒(石山武研究室)
就職先 株式会社ユアテック



八戸工業大学に入学してから4年、電気電子工学に関する専門知識の修得はもちろんのこと、特別補助学生や卒業研究などの経験をして、より人間として成長できた実感

できました。卒業研究では石山武研究室に所属し、酸化亜鉛ナノワイヤを用いた高輝度発光材料の研究を行いました。現在使われている紫外発光素子の有毒性や希少性を考慮し、安価で無毒な酸化亜鉛を代わりに使うという内容です。ナノワイヤの生成条件の確立や使用機材の操作の難しさなど、様々な課題に直面しましたが、これらを乗り越えることで思考力や計画性などのスキルを身に付けることができました。これからは八戸工業大学の卒業生である自覚と誇りを持って、社会に貢献できるよう頑張ります。

■学科近況報告

大学院工学研究科
電子電気・情報工学専攻主任
工学部電気電子工学科
学科長 石山武 先生

長引く自粛生活の中でも、学生たちは新しい生活様式を実践しつつ、勉学や課外活動などそれぞれに充実した日々を過ごしています。一例として、来年度の創立50周年記念に向けて八戸工業大学の歴史をICTの発展に重ね合わせつつ顧みる企画が、今年度の学生チャレンジプロジェクト事業に採択されました。また8月には、本学が主幹校となり電気関係学会東北支部連合大会がオンライン開催され、柴田准教授を中心とした本学科教職員で構成された現地実行委員会(委員長・坂本学長)の尽力により盛況のうちに終えることができました。今後とも皆様の温かいご支援の程よろしくお願い申し上げます。

美和電気工業株式会社
CONCEPT ENGINEERING

八戸営業所
〒039-2245 青森県八戸市
北インター工業団地1丁目1-4 4
TEL: 0178-20-4303 FAX: 0178-20-4230

人が、街が、環境が喜ぶ未来へ

株式会社 河原木電業
KAWARAGI

本社
青森県八戸市江崎二丁目11-13
TEL: 0178-45-2100

関東営業所
埼玉県さいたま市南区太田窪二丁目8-13
TEL: 048-884-3400

六ヶ所営業所
青森県上北郡六ヶ所村大字尾取字家ノ前85-2
TEL: 0175-72-3700

グループホーム智水寮
青森県八戸市江崎二丁目18-8
TEL: 0178-22-0011



近況報告

八戸工業大学 名誉教授 佐々木 幹夫 先生

大学における昼の最終講義、夜の懇親会・囲む会を終了したのが2020年1月23日でした。昼も夜も多くの卒業生、大学教職員、国や県の職員、民間の皆様方の出席により盛大なものになりましたがこれも竹内貴弘学科長、安田勝寿実行委員会委員長(卒業生)をはじめ実行委員会、学科教職員皆様のご協力の賜物と深く感謝しております。これ以降、コロナ感染が広まり、一堂に会しての規模の大きい行事は不可能となっており、今振り返れば本当に幸運だったと思っております。

2020年3月31日で大学を定年退職し、昨年4月からの1年間は調査研究お手伝いのため大学に週3日ほど出かけ、今年の4月からは大学には国や県の委員会の打ち合わせ等に出かける程度で、普段は退職生活を楽しんでおります。冬はスキー、夏はゴルフを目指しています。スキーは12月から3月までゲレンデスキー、4月および5月は八甲田の山スキーを満喫、八甲田の新しいツアールートを開発して雪水学会に発表しようと思

込んでいます。夏のゴルフは冬のスキーの体力づくりのために始めたものですが今ではこちらが腕が上がり、正式競技に出ているので、未発表の研究成果もあるので国際会議等に発表予定です。



四十四年間ありがとうございました。

法人理事・名誉教授 福士 憲一 先生

去る3月、大学を退職しました。現・旧教職員、卒業生、関係者の皆様には長い間お世話になりました。現在は、法人理事・非常勤講師として週に数回出勤し、微力ながら継続勤務しています。本館3階の部屋も副学長室を理事室と変えただけで、メールも同じです。学科棟の研究室は引き払いました。

退職には最終講義がつきものですが、少し工夫して「最終講和」としました。(左写真参照)。

コロナ禍でもあり、対象を現教職員に絞って44年間の経験や反省を述べました。今後の大学発展に少しでも参考にしてもらおう趣旨でした。

退職後は、現役時代に叶わなかった旅行など存分に楽しむ予定でしたが、コロナのために全て停止です。もっか最大のストレスですが、今は体力を維持して今後に備えたいと思っています。あと1年少しで完全に退職しますが、今後ともよろしく願っています。

ありがとうございました。



採用、津軽海峡冬景色 S52
□ 博士2年の冬「八戸工大へ」応募に行くように
□ S51 12.24 無難な面接
□ 土木部賞、助手、総務、秘書職などすべて決定済！ 街に来ることになっていた！
□ 修験のため、札幌へとんぼ返り
連絡船待合室で石川きゆり子の歌が...
*人生は運命、決断、熟慮断行が肝要

人間力を身につけた
土木建築分野の中堅技術者育成

工学部 土木建築工学科

<https://www.cea.hi-tech.ac.jp/>

〔訃報〕
お悔やみ申し上げます
橋詰 豊 先生 令和3年5月28日逝去



学科長就任のご挨拶

工学部 生命環境科学科
学科長 藤田 敏明

学匠会の皆様、令和3年度から生命環境科学科の学科長になりました藤田敏明です。本学科は平成30年度(2018)に前身の「バイオ環境工学科」から「生命環境科学科」に名称変更し、自然科学のより多くの分野を網羅した教育・研究を目指してまいりました。名称変更して今年で4年目を迎え、来年3月には現カリキュラムで初めての卒業生を輩出する予定です。この中には、平成30年度の改組に伴って設置された「海洋学副コース」ならびに「特別養成コース」の修了生も含まれます。これまでと同じく工学の基礎知識を持った有能な若者に加えて、海洋生態やより高度なスキルを持った学生が社会で活躍してくれることを期待しております。同窓生の皆さま方には折に触れ本学科へのご指導、ご鞭撻を頂いておりますが、これから社会の一員となる後輩たちにも温かいご指導をよろしくお願いいたします。さて、ご存知の方も多いかと思いますが、令和4年度から工学部が改組となり新体制が始まります。これに伴って工学部の5学科は1学科に統合され、「生命環境科学科」は「生命環境科学コース」へと変わります。コース教育の中心軸はこれまで連綿と受け継がれてきた環境調和型技術

を持つ技術者の育成であり、これに現代社会で必要とされている数理・AI・データサイエンスの基礎知識ならびに工学とデザインを融合させた共創教育を加えることで、変化の激しい社会に柔軟に対応できる人材を育成します。矢継ぎ早な改組の連続ではありますが、日々変革する社会に適応した結果であるご理解いただき、後輩の成長にご助言いただくと幸いです。

私は、平成21年にバイオ環境工学科のスタートと共に本学科に赴任し、生物系の授業や実験を担当してきました。「分子遺伝学」や「生理学」などを担当してはいますが、研究の専門は魚卵の形成で、卵膜のタンパク質やその遺伝子を分析しています。主にミクロな現象を研究していますが、サンプルは生きた魚です。

ので、生き物に直接触れることも多い分野です。野生の生き物は人の支配下に無いため、容易にコントロールすることは出来ません。しっかりとした計画と柔軟な対応が必要とされます。生物の実験を通して学生を指導する際は、専門知識だけでなく先を予測して仕事を進める力を修得できるよう気を付けています。

学科名称とカリキュラムの変遷は、社会情勢に柔軟に対応した結果を反映しています。これからも社会や教育のニーズにフレキシブルに対応し、優秀な人材の育成を目指します。多様性の高い教育の成果として、学匠会の皆様のご活躍の分野も年々広がってきているのではないのでしょうか。機会がございましたら、皆様の様々な分野でのご活躍を在学生にお示しただければ何よりの激励になると思います。同窓生の心の拠り所である学匠会のさらなるご発展を祈念いたします。

■ 学科からのお知らせ

Twitter はじめました。

教職員が平日1回程度、生命環境科学科の様子や出来事をつぶやいています。

生命環境科学科@八戸工大

(@HITSeimeiKankyo) / Twitter

<https://twitter.com/HITSeimeiKankyo>



YouTube はじめました。

生命環境科学科の本田先生、今年度は乳酸菌でパン作り(?)に挑戦しています。



八戸工業大学いかがでしょう 第1話

<https://www.youtube.com/watch?v=90Bqtlte9MY>

〔訃報〕

お悔やみ申し上げます

葛西良彦さん エネルギー工学科5期生

令和2年7月21日逝去

小山信次先生 令和2年12月14日逝去

株式会社ザックス
<http://www.zax.co.jp>

理化学機器、放射線関連製品、試薬、エアフィルター、計量証明、化学工場及び研究施設の運転・保守、等

八戸営業所 八戸市長根4丁目17-7
 tel:0178-73-3620 fax:0178-73-3621

事業所: 東通(本社)、六ヶ所、大間、八戸弘前、青森、北海道

Zax Associate
 X challenge
www.zax.co.jp
 株式会社ザックス

(株)アムテックス・安全自動車(株)・(株)イヤサカ
 指定サービス工場

自動車整備用機械工具及び検査機器 修理・保守
 一般社団法人 日本自動車機械工具協会
 車検機器点検資格・リフト点検資格 認定

藤澤こうぐ店

代表 藤澤 崇司
 (平成8年度 エネルギー工学科卒)

〒041-1111 北海道亀田郡七飯町本町5丁目19-19
 TEL/FAX 0138-83-1285

■学科ニュース

システム情報工学科が Unity認定校に

本学はこのたび、「Unityアカデミックアライアンス(UAA)」を契約しUnity認定校となりました。Unityは統合開発環境を内蔵するインタラクティブなリアルタイム3Dコンテンツおよび2Dコンテンツを制作するためのゲーム制作プラットフォームです。現在、日本のゲーム会社だけでなく世界の有名ゲーム会社でもUnityが採用され、ゲーム分野以外に関してもVR、AR、アニメーション、映画の製作、放送業界など多くの場でその技術は利用されています。本契約によって本学の学生は学生個人所有PCにUnityをインストールして授業に参加することや、大学資産のPC全てにUnity Proを利用することで常に最新のテクノロジーに触れながら教育がうけられます。既に、システム情報工学科では自治体や八戸市博物館との共同プロジェクトにUnityを活用したアプリ開発を行っており、その成果を展示会や学会などで発表しています。本学では今後もUnityを活用した技術者育成、地域連携、高大連携などの取り組みをより積極的に続けていきます。

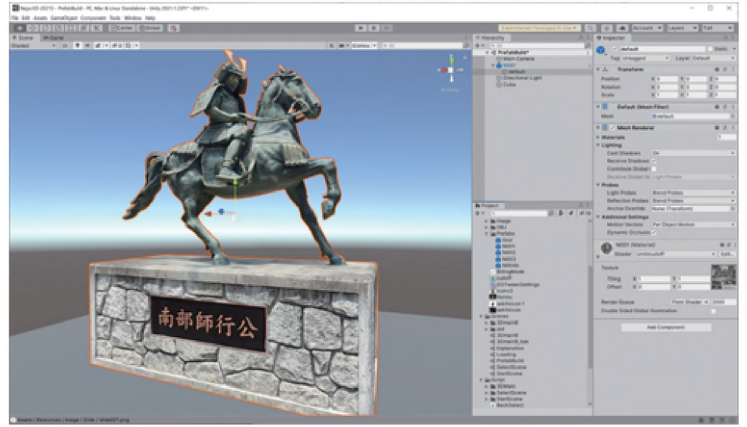


■OB・OG近況報告

小比類巻 俊

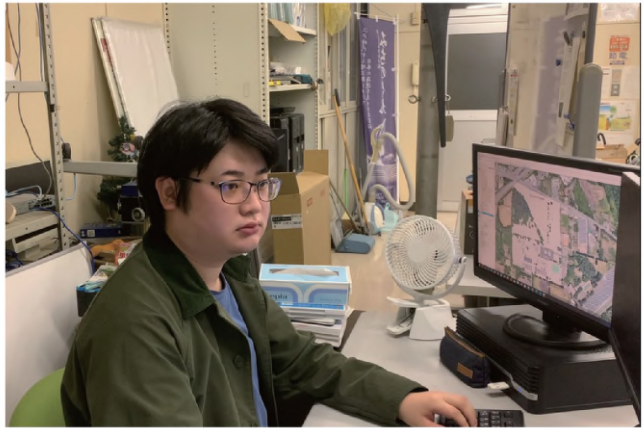
令和元年度卒業 八戸工業大学大学院
私は大学院に進学し、大学時の研究を継続して行っています。「小型風力発電向け風況マップの作成」というテーマで研究をしています。思うように成果を得られず、知識や技術不足を痛感していますが、研究室の先生と打ち合わせを行いながら日々パソコンと向き合っています。

大学院の生活では学会の会場での発表の中止、オンラインでの就職活動など、コロナ禍の影響がありました。しかし、周りの方々のおかげでオンラインにて学会で発表をすることが出来ました。



八戸市博物館との共同研究「根城ぐるぐる」

これから大学院の最終試験や来年には社会生活が始まるので、大学院生としての残りの時間で、より勉学に励み大学院生活を充実させていきたいです。



Office Optimization
 オフィス・最適化/オフィスの最適化
 貴社の業務の本質を捉え、
 オフィスの最適なカタチを提案するのが仕事です。

株式会社 金入

〒039-1121
 青森県八戸市卸センター二丁目4-12
 TEL 0178-28-2871 / FAX 0178-20-2764
<http://www.kaneiri.co.jp>

■うみねこ会のシンボルマーク

決定と在学生への配布

令和2年度は、うみねこ会の活動として、在学生・卒業生の認知度を向上させるためにシンボルマークを作成しました。シンボルマークは、工大二高の生徒さんに作成して頂き、役員会等で審査した結果、左記のように決定し、令和3年3月15日には二高で表彰式を行い、その様子がABA青森朝日放送で放映されました。

なお、決定したシンボルマークは、エコバックに印刷して、卒業生へ配布し、令和3年度は在学生へ配布する予定です。



感性デザイン同窓会

■ 学科ニュース

山田町壁画プロジェクト

創生デザイン学科4年

大久保 航也

私は、現在、岩手県山田町で、震災後に建設された防潮堤に壁画制作を行う活動でリーダーを務めています。きっかけは、私の所属している硬式野球部の地域交流です。これを地域の文化に寄与する活動にしていこうと考え、感性デザイン学部が学生が主な部員となっている美術研究部に協力してもらっています。



岩手県などの三陸沿岸地域では、東日本大震災の被害を受け、防潮堤が新たに新設・増設され、防災としての安全と引き換えに、景観として街から海が見えなくなりまし。震災を直接経験していない今の子どもたちが、復興や防潮堤などの建造物が街にある意味を理解していかなければ、過去におきた大災害の記憶もすぐに風化してしまうでしょう。

今年にはコロナウイルスの影響で一緒に作業できていませんが、今後は地域の小学生とともに絵を描き、数年後の完成を目指して多くの人々が交流することのできる場となっていくことが目標です。今回のプロジェクトに参加した学生は、制作の合間に山田町の海で遊ぶなどしました。山田町の海は穏やかですが、このような海で甚大な災害が起きたことを肌で感じ、災害はいつどこで起こるか分からないことを教訓とし、復興支援の在り方について考えを深めてほしいと感じています。

「陶芸教室」で中・高との連携を図る

創生デザイン学科 准教授

石毛 清八

子どもの頃から絵やものづくりに興味があり、大学卒業後、中学校の美術教師を経て本学に着任。主に教職課程や工芸、彫刻に関する講義を担当し、今年で2年目となります。

大学の教員には教育・研究・社会への貢献などが求められると言われますが、着任当初から社会貢献の一つとして、今までお世話になった教育現場の役に立てていこうと、中学校美術教員向けに陶芸教室を開催することにしました。また、大学に大型の陶芸窯があったこと、陶芸に興味があり、教材として扱った経験があったこと、中学校の美術教育の中で陶芸分野は施設・設備面での制約が多く、実践している教員が少ないことなどから、中学校美術教員向けに陶芸教室を開催することにしました。

2年目となる今年には新たに高等学校の美術教員、本学の職員も加わり14名が参

加。「たたらづくりのマグカップを作ろう」と題して7月29日〜8月1日、1期と2期に分けて開催しました。たたらづくりとは、たたらと呼ばれる薄くスライスした板状の土を使って形を作る技法のことです。今回は5ミリ厚の土板を円筒に巻きつけて本体を成形し、マグカップを制作。1日目は本体とハンドルの成形、2日目はハンドルを取り付ける作業を行いました。



参加者からは、「実用性の高い食器を題材としていて、美術・工芸と生活の関りを実感できました。」「楽しく制作ができました。」「もう少し制作ができればいいな」といった感想をいただきました。参加される先生方により満足していただけのように、来年に向けて新たな素材を探していきたいと思えます。

■ 新任教員挨拶

創生デザイン学科 教授

佐藤 昭雄



はじめまして。本年度4月より着任しました佐藤昭雄(さとうあきお)と申します。

もともと高校の教員で、初めて担任したクラスに不登校の生徒がおり、自分の専門教科には自信があったものの、生徒理解やかかわり方、生徒指導や学級経営の力不足を痛感し、教職5年目に心理系の大学院に進学し勉強し直しました。

大学院修了後は再び教職に復帰し、臨床心理士資格を持つ教員(当時全国に3人しかいませんでした)として一風変わっ

た教員人生を歩ませていただきました。途中、青森県総合学校教育センターの指導主事や課長として10年間先生方の教員研修や生徒・保護者の電話・面接相談に携わりました。また、その間ご縁があり弘前大学の客員教授や非常勤講師を務めさせていただきました。

赴任した高校としては、初任校が八戸北高校で、その後八戸高校、三本木高校は教諭として、三本木農業高校と八戸中央高校では教頭を、尾上総合高校と八戸北高校は校長として過ごさせていただきました。おかげで進学校から専門高校、定時制高校や通信制高校を経験させていただきました。多様な生徒と触れ合うことが出来ました。

大学院修了後、教職のかたわら研究活動も継続し各種学会で発表もさせていただきました。専門は教育心理と臨床心理ですが、これまでの経験を生かし本学教職課程の活性化にも貢献できればと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

創生デザイン学科 助教

塩入 彬允



本年度4月から着任しました塩入彬允(しおいりあきよし)と申します。基礎教育研究センターと感性デザイン学部にも属しており、「体育学」

「スポーツ健康学」「スポーツ特別演習」等の体育科目の担当させていただいております。八戸市出身で小学校4年生に卓球を始め、学生時代は練習漬けの毎日でした。大学では体育学部でコーチング学分野を専攻し、大学院では卓球競技におけるゲーム分析に関する研究を行っており、現在も進行中です。これまで大学や高専で非常勤講師を経験し、様々な学生と一緒に時間を過ごす中でコミュニケーションの大切さを実感しました。普段の生活や講義、課外活動を通して、これまでの経験を活かして教育活動をしていきたいと思えます。今後は、卓球やスポーツを通して地域に貢献していきたいと考えておりますので、お力添えのほどよろしくお願いたします。

令和2年度（2020年度）事業報告・収支決算報告

2020(令和2)年4月1日～2021(令和3)年3月31日

事業報告

《本部》

月日	事業内容
令和2年 6月27日(土)	第1回理事会及び定例代議員会(紙面審議)
令和2年10月 3日(土)	第20回同窓生の集う会(延期)
令和2年12月	第26号同窓会報発行
令和3年 2月12日(金)	三役会議(オンライン)
令和3年 3月19日(金)	学位記授与式(オンライン開催派遣中止)
令和3年 3月19日(金)	第2回理事会(紙面審議・オンライン意見交換)

《支部》

月日	事業内容
令和2年 7月11日(土)	北海道支部総会(中止)
令和2年 8月29日(土)	東北支部総会(中止)
令和2年 9月12日(土)	関東支部総会(中止)
令和2年 9月26日(土)	北海道道南部会支部総会(中止)
令和2年10月24日(土)	秋田支部総会(中止)
令和3年 3月12日(金)	秋田支部 役員会
令和3年 3月	北海道道東部会支部総会(十勝会・中止)

《分会》

月日	事業内容
令和2年 4月15日(水)	水交會賞表彰式(八戸工業大学)
令和2年 4月30日(木)	学匠会役員会、幹事会(メール審議)
令和2年 5月14日(木)	蒼峰会役員会(八戸工業大学)
令和2年 5月21日(木)	蒼峰会総会(中止)
令和2年 5月23日(土)	学匠会第1回幹事会(中止)
令和2年 5月23日(土)	うみねこ会第1回幹事会
令和2年 5月	感性デザイン同窓会幹事会(中止)
令和2年 9月 7日(月)	第1回水交會役員会(メール審議)
令和2年 9月14日(月)	令和2年度水交會総会(Web)
令和2年 9月19日(土)	うみねこ会役員会
令和2年10月 3日(土)	土木建築工学科同窓会役員会 土木建築工学科同窓会(中止) 感性デザイン同窓会・総会(中止)
令和2年10月14日(水)	新型コロナウイルス感染防止対策品寄贈(水交會)
令和2年11月20日(日)	建築創設期の恩師を囲む会
令和2年12月15日(火)	新型コロナウイルス感染防止対策品寄贈(うみねこ会)
令和3年 2月25日(水)	新型コロナウイルス感染防止対策品寄贈(蒼峰会、土木建築工学科同窓会、学匠会感性デザイン同窓会)

決算報告

《収入の部》

(単位:円)

項目	本年度予算額	決算額	差異
会費	5,600,000	5,520,000	▲80,000
会報協力費	500,000	608,446	108,446
広告収入	120,000	50,000	▲70,000
雑収入	7,171	1,766	▲5,405
前年度繰越金	8,252,829	8,252,829	0
計	14,480,000	14,433,041	▲46,959

《支出の部》

(単位:円)

項目	本年度予算額	決算額	差異
会議費	200,000	8,000	192,000
旅費交通費	1,000,000	0	1,000,000
集う会経費	300,000	0	300,000
印刷費	2,750,000	2,373,847	376,153
通信費	50,000	10,166	39,834
支部関係	1,350,000	79,914	1,270,086
運営費	20,000	21,340	▲1,340
分会助成費	1,200,000	500,654	699,346
業務委託費	70,000	66,000	4,000
積立金	0	0	0
慶弔費	60,000	1,562	58,438
卒業記念品	140,000	135,330	4,670
記念事業支援費	0	0	0
会則3・4条関連事業費	100,000	0	100,000
予備費	5,000	5,000	0
計	7,245,000	3,201,813	4,043,187

次年度繰越金 収入(決算額)-支出(決算額) = 11,231,228円

《特別会計》

(単位:円)

項目	本年度予算額	決算額	差異
当期積立金	0	0	0
前年度繰越金	20,000,000	20,000,000	20,000,000
計	20,000,000	20,000,000	20,000,000

令和2年度監査の結果、上記の通り相違ないことを認めます。

令和3年6月2日 監事 夏堀 大司
監事 左館 直樹



広告掲載 のお願い

同窓会では、「同窓生の集う会」開催など各事業を行っております。年に一度発行する同窓会報もその事業の一環であり、本会の活動内容や大学の近況等を発信するメディアとして、毎年多くの同窓生にご愛読されています。一方で、会報発行に掛かる経費(印刷および発送費)は同窓生数の増加とともに増え続けています。そこで、会報発行に掛かる経費を広告収入より充当したく存じます。つきましては、経費ご多端の折とは存じますが、同窓会報の永続的な発行のため、皆様より広告掲載のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

- 発行時期: 令和4年12月予定 (同窓会報第28号)
- 発行部数: 約13,800部(予定)
- 広告規格及び、金額(フルカラー)
広告1枠(6cm×4cm) ¥10,000
※他サイズは、ご相談ください。
- 申込期限: 令和4年9月23日

同窓会事務局の連絡先(各種連絡先としてご利用下さい)

本部事務局 (学務部 学生支援担当)
TEL : 0178-25-8027 E-mail : dosokai@hi-tech.ac.jp

機械工学科・産業機械工学科・機械情報技術学科 (機械工学科事務室)
TEL : 0178-25-8010 E-mail : dosokai-m@hi-tech.ac.jp

電気工学科・電気電子工学科・電子知能システム学科 (電気電子工学科事務室)
TEL : 0178-25-8020 E-mail : dosokai-e@hi-tech.ac.jp

土木建築工学科・土木工学科・環境建築工学科・建築工学科 (土木建築工学科事務室)
TEL : 0178-25-8118 E-mail : dosokai-d@hi-tech.ac.jp

IT科-工学科・生物環境工学科・IT環境工学科・生命環境科学科 (生命環境科学科事務室)
TEL : 0178-25-8050 E-mail : dosokai-p@hi-tech.ac.jp

システム情報工学科 (システム情報工学科事務室)
TEL : 0178-25-8080 E-mail : dosokai-i@hi-tech.ac.jp

感性デザイン学科・創生デザイン学科 (創生デザイン学科事務室)
TEL : 0178-25-8070 E-mail : dosokai-k@hi-tech.ac.jp

同窓会事務局から

●同窓生の皆様へ

同窓会報があたりらしい住所に届かない、住所変更後送付先を変えてほしい等につきまは、左記の同窓会本部事務局まで、電話またはメール(氏名、現住所、学籍番号または、卒業年度と学科)をご連絡いただきますようお願いいたします。

●ご家族の方へ

本誌同窓会報をご家族の方が見て同窓生本人が見ていないことあるようです。お手数ですが、ご子女に了承いただき同封の表紙にご子女の現住所等必要事項をご記入のうえ、フリーFAXにてご送付ください。

協賛金のお願い

1992(平成4)年3月に同窓会報第1号(創刊号)を発行し号を重ね、今回も約13,600名の会員にお届けすることが出来ました。会報を通して、新たな会員相互の親交が生まれたというお話を伺いますとき、発行継続が同窓会の本来の目的に叶っていくものと考えております。今後、会報の発行を維持していくための費用として、皆様には協賛金のお願いをさせていただいております。協賛いただいた方におかれましては、お名前を次号に掲載させていただきます。掲載をご希望されない方は、恐れ入りますが、同窓会事務局までご連絡ください。次号もまた、皆様からの様々など意見に耳を傾け、魅力ある紙面づくりを取組んでいきます。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

同封物の見方(左図見本)

- 1 あなたの整理番号です。
- 2 現在、住所が分からず会報誌をお届け出来ない方々です。もしご存知のお名前がありましたら、ご本人から変更等ご連絡いただくようお願いください。
- 3 QRコードより現在の登録内容が変更できます。また、住所未確認者等の確認もできます。
※変更のある方はいずれかをご利用ください。
①下記フリーダイヤル
②下記フリーFAX
③QRコード(携帯電話)
- 4 電子決済でのご利用案内です。
- 5 コンビニ・郵便局で利用できる振込用紙です。

協賛金へのご入金方法

お問い合わせ

フリーダイヤル 0120-10-9899(内線92)
平日10:00~17:00
フリーFAX 0120-10-9184(24時間受付)

〒031-0814
青森県八戸市妙字大開 88-1
八戸工業大学大学院 カチカカガ'ケンコウ

八戸工大 太郎

整理番号 12345678 ①
(内線92)
八戸工業大学同窓会

ご連絡先
0120-10-9899
0120-10-9184 終日受付

【協賛金(会報維持経費)に関するお願い】 同窓会活動を永続的なものとするために、毎年、協賛金を募っております。何卒できるだけご協力を願います。協賛いただいた方のお名前を次号に掲載させていただきます。掲載をご希望されない方は、恐れ入りますが、本部事務局までご連絡ください。※「協賛金」の詳細につきましては、会報12頁をご覧ください。
同窓生を中心に郵便物をお届けできない方を掲載しましたので住所等ご存じの方がおられましたら、ご本人より上記の電話番号へご連絡ください。住所等ご存じの方の住所を掲載し、ご本人同意の上掲載させていただきます。

▼住所未確認リスト

42314003 工藤 成泰様	42317044 篠田 流佑様	42321028 福澤 祥介様
42314004 伊藤 恵祐様	42317068 根深 透様	
42316004 伊藤 雅樹様	417076 林 孝勇様	
42316011 風崎 輝様	417081 三上 圭介様	
42316017 木谷 隆明様	42317087 李 ウーロン様	
42316026 佐藤 光宏様	42319018 佐々木 信博様	
42316034 田村 亮祐様	42321004 石川 冬樹様	
42316035 辻田 裕助様	42321013 工藤 斗武郎様	
42316048 本間 雄佑様	42321017 坂本 龍朗様	
42317020 加藤 久貴様	42321080 筒崎 まり子様	

お支払い方法を下記の通りご案内申し上げます。

①コンビニエンスストア・ゆうちょ銀行又は郵便局から。
下記の「払込取扱票」にて、お支払いください。

②携帯電話・スマホ・PCから。ご自宅にないがいつでも簡単に支払うことができます。
◆モバイル決済
「ゆうちょ銀行」「楽天銀行」などのモバイルバンキング
◆電子マネー
「楽天Edy(エディー)」

※事前に引当り先の金融機関にモバイルバンキングの申し込みが必要となります。 ※お支払金額の残金がない場合はご利用いただけません。

⑤ 払込取扱票

通常払込料金 加入者負担
001605 749893 2000

八戸工業大学同窓会

八戸工大 太郎 整理番号 12345678 10

〒031-0814青森県八戸市妙字大開 88-1 八戸工業大学大学院
カチカカガ'ケンコウ

2020/11/18

受付局日印

払込票兼受領証

001605 749893 2000

八戸工業大学同窓会

八戸工大 太郎 様

整理番号 12345678

受付局日印

八戸工業大学同窓会 会報

HiT Alumni Association Journal

https://alumni.hi-tech.ac.jp 12